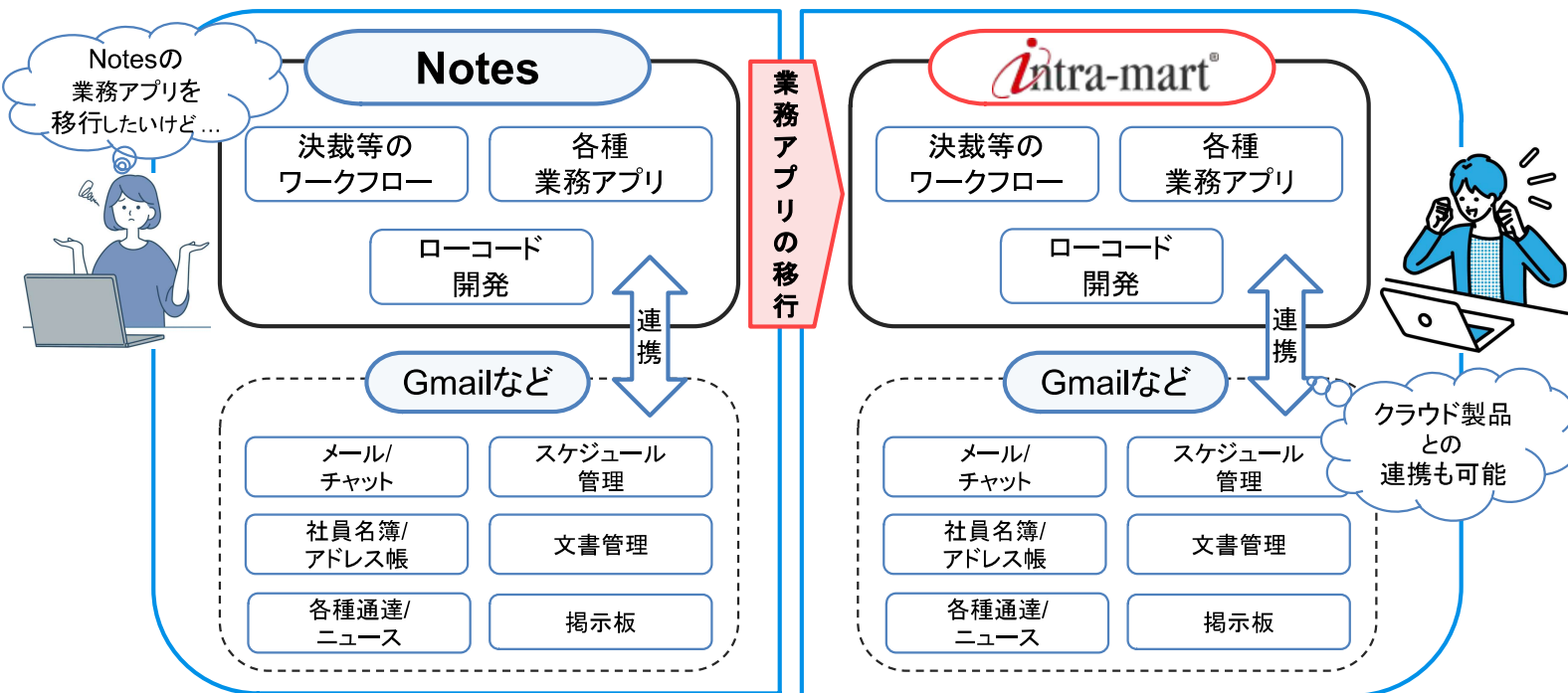


Notesの保守延命ループから脱却しませんか？

～一度は移行を諦めた業務DB、NI+Cがお手伝いします～

intra-martなら、容易に作成できるワークフローやローコード開発で、業務アプリの移行がスムーズにできます



提案1

ユーザー数がライセンス費用を左右します

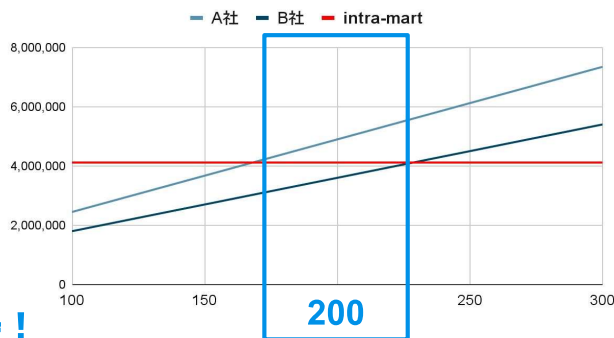
Q. ワークフローシステムやローコード開発ツールって、手頃な価格のクラウドサービスから、サーバ課金のものまでいろいろある。どれを選択すればいい？

A. 規模に合わせた適切なサービスの選択が必要です。

ユーザー課金の低価格なクラウドサービスは小人数の組織向けの価格設定となっていることが多いため、中規模以上の企業向けにはサーバ課金タイプの製品がおすすめです。

200ユーザーを超えたら intra-martライセンスがお得！

ユーザー数ごとの費用

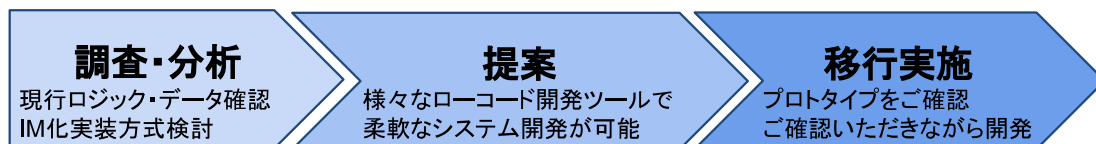


提案2

適切な移行プランのご提案

Q. Notesの業務アプリ上の過去データの移行は諦めないといけないの？

A. 過去データの移行についてもご希望をお伺いし、最適な移行方針をご提案いたします。



提案3

さまざま連携方法を追加料金不要で利用可能

既存の基幹システムへの連携など、外部サービスを柔軟に連携することが可能です。

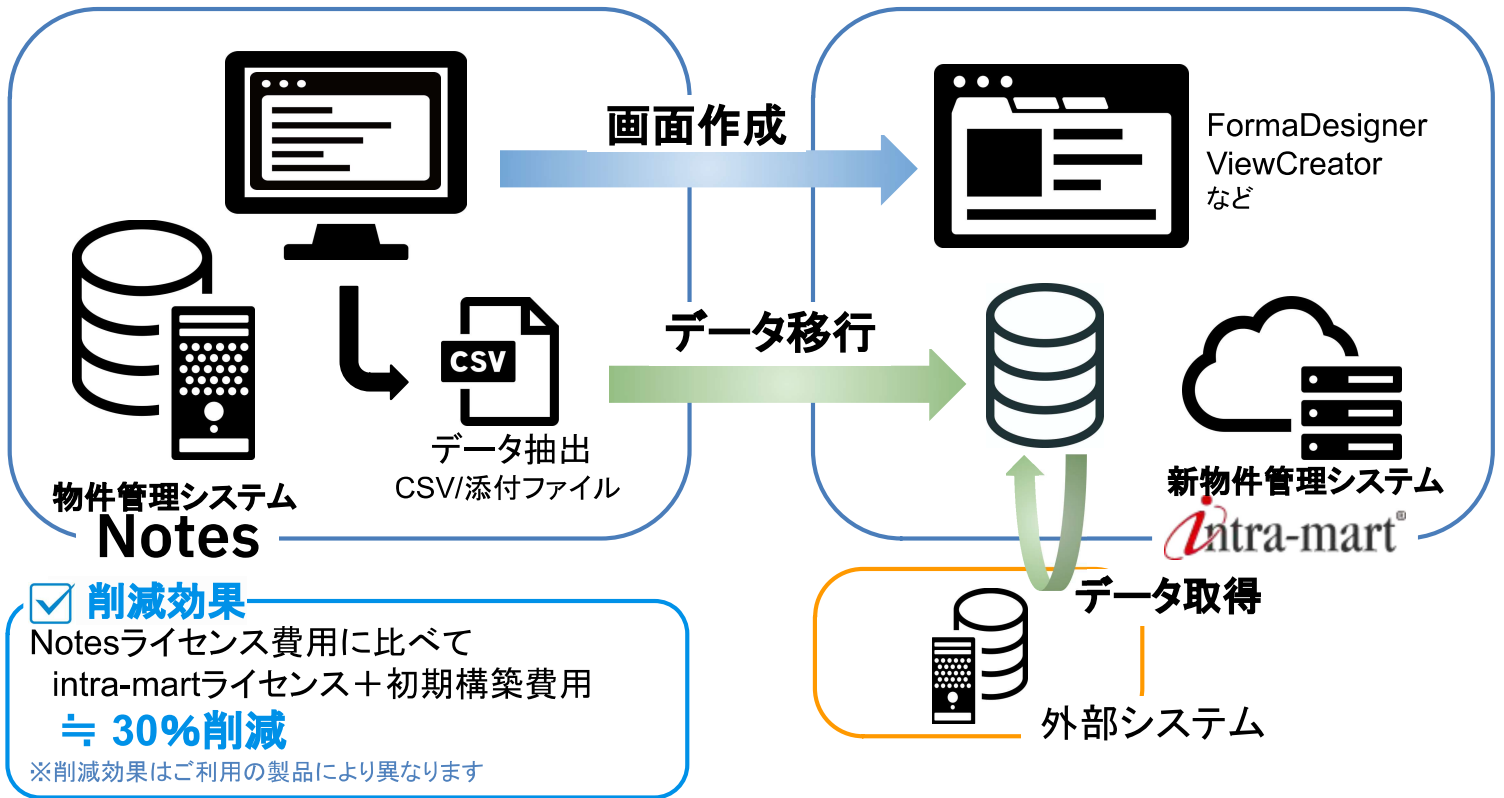
外部連携で利用できるデータソースの種類

- テナントDBクエリ
- シェアードDBクエリ
- CSVインポート/エクスポート
- ルール
- REST
- SOAP
- JAVA
- LogicDesigner

Notes上の業務システムのintra-mart移管実績

不動産関連会社様 業務システム

【システム概要】	物件管理システムをイントラマートに置き換え
【主要機能】	物件情報登録、各種一覧表示、CSV出力、メール送信、外部連携
【データ項目数】	約150項目
【利用者数】	約1000名
【開発工数】	約2人月 (設計～テスト完了まで※環境構築を除く)



★プロトタイプ手法を用いた画面開発

プロトタイプ画面を作成し、ご担当者様のご意向を確認しながら進める事でリスクを低減。

